七月一日より七日まで
職域安全・工場安全
災害撲滅・業績向上
特別大祈願会
（詳細は四面に掲載）

名古屋 成田山

昭和32年10月10日
第3種郵便物認可
毎月1回25日発行
発行所　愛知県犬山市
成田山名古屋別院大聖寺
電話　0568（61）2583(代)
FAX　0568（62）7020
振替　00890-4-19213
http://www.inuyama-naritasan.or.jp/

創刊 昭和29年1月25日（637号）平成19年6月25日発行　一部　10円

【写真】青葉まつり厳修

教苑

御縁を大切に

この年齢になると、若い時には感じなかった「縁」というものを感ぜずにはいられません。こうして「名古屋成田山」の紙面に書かせていただくのもその一つです。

義父が成田山の僧侶であった関係もあり、お寺さんとの御縁も沢山いただいています。成田山の僧侶養成期間である「勧学院」や「はぼたん日曜学校」での茶道指導、少年院の篤志面接委員等々をさせていただいています。お陰様で、年齢や環境、立場の違う様々な人達と触れ合うことが出来ます。そして共に勉強させていただいています。

又、国際空港のある町の人間として、多くの外国人との交流があります。日本文化を紹介し、少しでも日本理解に繋がればと願っています。外国の人の多くは日本の伝統文化に強い関心や憧れを持っています。ですから“外国人だから”という安易な考え方は禁物です。より確かなことを伝えなければいけないと考えています。

日本の伝統文化の中でも特に「道」のつくものは精神性が求められます。最近お会いした南アフリカの男性は、ある先生の書かれた“古武道”の本を読み、それに憧れて来日しました。香取神道流の門をたたき、何度目かに許され修業しています。

求道者である彼は、「夢源大望」（夢は大望の源であると読むのでしょうか？）と書かれたTシャツに作務衣姿で、四国八十八ヶ所や熊野古道、出羽三山等を歩いて巡っています。それは自分自身の精神をより高める為なのだそうです。そうして自国に帰り、自宅に作られた道場で地元の子供達に武道を教えると共に精神も鍛えているのだそうです。

彼曰く「大人はもっと子供達に躾（しつけ）をすべきだ」と。確かに日本でも子供達の躾がなっていないように思います。何でも悪いことは学校や先生のせいにし、家庭ではどうなのかという反省をしません。大勢の外国人が日本で学ぼうとしています。我々日本人はもっともっと自国のことを知り、誇りが持てるようにしたいものです。それが真の意味の国際理解や交流に繋がることだと思います。

茶の道ではよく「一期一会」という言葉を使います。茶の道に限らず、人間、一人では生きられないのですから、出合いや御縁を大切にし、今日この瞬間、瞬間を精一杯生きたいものです。

何事にも「お陰様」の心を忘れずに。

大本山成田山新勝寺勧学院　教授
表千家同門会千葉県支部　事務長
八街少年院篤志面接委員
阿地　敏子

平成19年6月25日発行　名古屋 成田山　第3種郵便物認可（2）

弘法大師・興教大師ご生誕慶祝

青葉まつり

宗祖弘法大師・空海上人、並びに興教大師・覚鑁上人のご生誕をお祝いする青葉まつりが六月十五日から三日間に亘り弘法堂にて盛大に厳修しました。【写真一面・左】

弘法大師は、宝亀五年（七七四年）六月十五日に、興教大師は、嘉保二年（一〇九五年）六月十七日にお生まれになりました。

十五日は午前十時三十分より、弘法大師ご生誕慶祝法要を厳修。法要に併せ松尾流家元妙元斎宗典宗匠による献茶式が営まれました。

参列の方々が家元の華麗なお点前を見入る中、点てられた二服のお茶を両祖大師ご宝前にそれぞれ供えられ、報恩謝徳の誠を捧げました。

十七日は、興教大師ご生誕慶祝法要を厳修しました。

虫封じ祈願会

六月四日午後二時より、お子さまの夜泣きの原因に当たる疳の虫を封じ、健やかな成長を祈願する虫封じ祈願会を厳修、大勢のご家族のお参りを頂きました。

本堂でのお護摩厳修では一人ひとりお子さまの芳名を読み上げ虫封じを祈願。厳修後は後堂にて身の回りの一切の災難を祓う洒水（しゃすい）加持を受けられました。

この祈願会を通して、お子さまの健やかな成長をお祈り申し上げます。

第五十二回 学童写生大会 表彰式

六月三日午前十時より信徒会館ホールにて、「第五十二回学童写生大会」表彰式を開催しました。

表彰式では、成田山明王賞を受賞した清水一輝君を筆頭に、特別賞受賞者それぞれに賞状と記念品が手渡され、賑やかに閉会しました。

信徒安全
興隆仏法

別格本山 高幡不動尊 一行来山

別格本山・高幡不動尊金剛寺ご一行様が、研修旅行の一環として五月十七日、二十三日の二回に分けて来山されました。

ご一行様は到着するとすぐに本堂にて大護摩供に参拝し、山内安全を揃って祈願されました。宮本主監により挨拶を受け、しばし歓談の後、境内を散策されました。

特に自動車交通安全祈祷殿でのご祈祷に深く関心を寄せられたようで、祈祷殿道場を始め、受付場所、お守札を見入られました。

大相撲 時津風部屋 稽古開始

日本相撲協会・時津風部屋一行が、七月八日に初日を迎える名古屋場所に供え、今月二十二日に来山宿舎を構えました。到着早々に稽古場内に土を盛り土俵を整え、連日稽古に励んでいます。

豊ノ島関を筆頭に、時天空関、時津海関、霜鳥関の四人の関取衆、一同の活躍が期待されます。

ご信徒皆様の暖かいご声援をお願い申し上げます。

ほうろく灸 お加持

七月二十一日
（宗祖弘法大師のご縁日）
七月三十日
（土用の丑の日）

無病息災・ぼけ防止を祈願するほうろく灸お加持。これから暑さが増す中、暑気払いにもいかがでしょうか。

ゆうけいの 心のおくすり絵

第四回 心、雨に洗う

夏の暑さの来る前にこの季節は梅雨である。

春から少しずつ季節がずれて来て環境の変化（異変？）は年々増して来ているように思うのは私だけだろうか？

それにつけてもこの梅雨は余り人に好かれる時期ではないようである。

蛍が出始め、梅の実がなり、秋に収穫を迎える稲の田植えが始まり、梅雨の晴れ間が嬉しいことは間違いない。

人の心もそう毎日楽しいことはないはず。積もりに積もった心の汚れを、どうせ雨が降って外に出ることができないのなら、雨の力を借りて洗い流してしまおうか。そう思うと何故か梅雨も嫌なものじゃないかも知れない。

「晴耕雨読」とは外は雨だから家に居てゆっくり自分の心を見つめなおすということなのではないかと、屋根を打つ雨の音を聞き、雨だれのゆくえを見ながらボーっとかんがえている。

【画僧　牧　宥恵】

「ほぐし絵手本帳」より

大本山新勝寺参拝旅行実施

―成田山洗心講―

成田山洗心講（先達講元＝渡邊義勝氏）は、五月二十一日、二十二日で大本山成田山新勝寺、富士山浅間神社・小国神社巡拝旅行を実施しました。

二十一日早朝、講員四十名を乗せたバスは、旅の始めに静岡県の小国神社・浅間神社を公式参拝しました。

夕刻前には新勝寺に到着し、諸堂の参拝・成田山公園散策・平和大塔の参拝などをゆっくりと楽しまれました。

翌朝、講員の有志は、かの二宮尊徳翁、東郷平八郎元帥も修行された水行堂で禊を行い身と心を引き締め、揃って朝護摩供を参拝しました。参拝後は橋本貫首猊下との記念撮影、坊入りを済ませ成田を後にし、川崎大師平間寺を参拝、横浜中華街での昼食を楽しまれた後、帰路につきました。神社での正式参拝、新勝寺の朝護摩供参拝と充実した内容で、大変有意義な旅路となりました。

山口記

成田山信徒会館屋上 防水舗装工事開始

この度開創五十五周年記念事業の一環として、成田山信徒会館屋上の防水舗装工事が今月二日から始まりました。

ご信徒皆様には何かとご迷惑おかけいたしますが、何卒ご理解下さいますようお願い申し上げます。

平成19年6月25日発行　名古屋 成田山　第3種郵便物認可(4)

特別大祈願会

職域安全・工場安全
災害撲滅・業績向上

厚生労働省、中央労働災害防止協会が主唱する「全国安全週間」が七月一日より実施されます。

当山ではその趣旨に賛同し、同期間に併せて職域安全・工場安全・災害撲滅・業績向上を祈願する特別大祈願会を厳修いたします。

安全な職域、安心して働ける職場の実現と業績の更なる向上を、ご本尊不動明王御宝前にてご祈願されますようご案内申し上げます。

一、期　間　七月一日から七日まで
一、ご祈祷時間
　午前九時、十一時、午後一時、三時
一、ご祈祷料　一金　五千円以上
一、大護摩ご祈祷料　一金　三万円以上

※祈祷札（お護摩札）には、《職域安全・業績向上》と浄書します。

盆供養会のご案内

八月十三日から十六日まで、ご先祖さま、並びに有縁無縁一切精霊の供養をいたす盆供養会を営みます。

期間中は、弘法堂周辺に行燈を掲げて夜九時まで点燈いたします。ぜひご来山されますようご案内申し上げます。

盆供養献燈会

期　間　八月十三日（月）から十六日（木）まで
時　間　午後五時から九時まで
場　所　弘法堂周辺
献燈料　一燈　三千円以上

先祖供養塔婆

笹塔婆　一基　二千円以上
塔　婆　五尺　三千円以上
塔　婆　六尺　五千円以上

（五千円以上の塔婆供養者は、盂蘭盆会法要厳修の際、施主名を読み上げます）

盂蘭盆会法要

日　時　八月十五日（水）午後二時より
場　所　弘法堂

開創五十五周年記念事業

ご志納のお願い

当山は、来る平成二十年に開創五十五周年を迎えます。この度の記念事業として、心字池上「憩いの場」造成並びに境内整備を推し進めることを発願いたしました。

境内の充実化にご協力いただきたく、玉垣、額石のご志納を賜りますようお願い申し上げます。

聖蘭堂玉垣（写真）
一金　二十五万円也

明王門下額石
一金　三十五万円也

◆お問い合わせ
〇五六八（六一）二五八三
信徒課担当　青山まで

学力向上御守

新入学生もそろそろ学校に慣れた頃かと思います。学力向上御守のご加護を受け、勉学に励まれますようお勧めします。

一金　800円以上

ホームページ「犬山成田山」を一新

http://www.inuyama-naritasan.or.jp/

今月より、当山ホームページ「犬山成田山」を一新いたしました。

各種ご祈祷札・お守りのお申し込みの利便性も向上いたしました。

ぜひ、新たなホームページをご活用いただき、当山との御縁をより深く感じていただけますようご案内申し上げます。

平成19年6月25日発行　名古屋 成田山　第3種郵便物認可(6)

索の會だより

飛騨古川三寺まいりと平湯温泉への親睦旅行を実施

― 碧南支部 ―

碧南支部（支部長＝鈴木良一氏）では、五月二十八日から一泊二日の日程で、飛騨古川三寺まいりと平湯温泉への親睦旅行を実施しました。

当日は、雲ひとつない快晴に恵まれ、午前七時三十分に名鉄碧南駅より出発。知多半島道路、東海北陸道を経て一路北に向けて快走し緑あふれる山並み、澄みきった青空を眺めながら飛騨古川に到着。

到着後は、先ず飛騨古川まつり会館を見学し、三寺詣りとして知られる円光寺・本光寺・真宗寺を順に参拝しました。その後、高山市内に入り円空仏の里・千光寺に立ち寄り参拝。円空仏寺宝館にて円空上人が一心に彫られた沢山の心温まる仏さまを拝観した後、夕方には、奥飛騨温泉郷平湯温泉平湯館に到着。温泉で旅の疲れを癒した一行は宴会にて親睦を深め楽しい一夜を過ごしました。

翌日は、午前八時三十分にホテルを出発し、車中にて雪に覆われた飛騨山脈北アルプス郷と青空のコントラストに見とれながら高山市内へと入り、陣屋・朝市、三の町散策をし家族へのお土産を買い求め高山市をあとにしました。夕方には碧南へと帰宅し、会員親睦の旅を無事に終了しました。

柴山記

平成１８年度成田山索の会決算報告書

平成１８年４月　１日から
平成１９年３月３１日まで

（単位　円）

収入の部 科目	金額	支出の部 科目		金額
前年度繰越金	6,881,872	教化費	布教費	28,000
会費 朱の会員	440,000	教化費	会員待遇費	5,918,415
会費 紫の会員	800,000	教化費	実践活動費	281,805
会費 緑の会員	1,150,000	小計		6,227,220
会費 黄の会員	594,000	経費	事務用消耗品費	8,532
会費 青の会員	7,039,000	経費	印刷費	203,175
小計	10,023,000	経費	通信費	170,000
その他	29,599	経費	旅費交通費	132,380
		経費	会議費	584,380
		経費	雑費	13,230
		小計		1,111,687
		還付金		1,409,800
		協賛金		0
		次年度繰越金		8,185,764
計	16,934,471	計		16,934,471

現金・・・・・・・1,070,638円
ＵＦＪ銀行・・・1,528,110円
名古屋銀行・・・5,589,016円

この報告書は監査の結果適法正確であることを認めます。
平成18年4月10日　監事　臼井靖二

春の犬山成田山巡拝旅行を実施

― 碧南支部 ―

碧南支部（支部長＝鈴木良一氏）では、五月十三日に二十八名の支部員が参加して、春恒例の犬山成田山参拝と海津市のお千保稲荷への親睦旅行を実施しました。

当日は、絶好の旅行日和に恵まれ、七時半頃名鉄碧南駅を出発し、一路犬山成田山へ向かいました。

午前十一時の大護摩供に揃って参拝し、諸願成就を一心に祈願されました。参拝後は信徒会館にて昼食をとり、その足でお千保稲荷へ向かい、参拝。家族へのお土産を買い求めたりして、碧南へ帰着し、楽しい旅行が終了しました。

柴山記

役員会開催

― 名古屋成田講支部 ―

名古屋成田講支部（支部長＝増田金次郎氏）では、五月二十日午前十一時の大護摩供参拝後、信徒会館にて役員会を開催しました。

始めに増田支部長より挨拶があり、成田山より武士田部長、小豆畑僧正、川瀬課長、森川名鉄名古屋幹事駅長と順に挨拶を頂きました。

引き続き、岡部評議員の議事進行により、増田支部長から名鉄名古屋幹事駅長の歓送迎会、開創一〇七〇年祭大本山成田山新勝寺参拝について等、話し合われ役員会を終了しました。

今枝記

― 広見支部 ―

広見支部では、去る五月二十八日可児市内にて役員会を開催しました。

役員会は、新たに支部長に就任された溝口政春氏より挨拶を頂き、次に新役員の紹介がなされました。

また、活動予定の話し合いも併せて行われ終了しました。

花村記

大本山成田山新勝寺 参拝旅行のご案内

平成二十年は成田山開基一〇七〇年にあたり、四月二十八日から五月二十八日まで記念大開帳が開催されます。

その吉縁に併せ索の会事務局では大本山成田山新勝寺参拝旅行を企画し、今秋より参加者を募集いたします。

◎五月十二日～十三日　一泊二日
◎五月十二日～十四日　二泊三日

尚、詳細は後日決定次第、当紙紙面にてご案内いたします。

奉納

清水公照作
仏像「釈迦十大弟子」

丹羽郡　社本宮明

※清水公照氏（一九九一～一九九九）は、第二〇七世、第二〇八世東大寺別当、華厳宗管長を勤められ、味わいのある書画、陶芸、「どろ仏」と称するユニークな仏像制作でも知られ、「今良寛」とも呼ばれています。

五月の大護摩供修行者芳名

（順不同敬称略）

名古屋市　港トラック成田講
瑞穂市　丸門建設㈱
羽島郡　丸門運輸㈱
〃　㈲丸門
東近江市　滋賀丸門運輸㈱
〃　㈱丸門
名古屋市　山崎製パン㈱
〃　名古屋工場
〃　フジトランスライナー協力会
小牧市　小牧成田講
〃　本間製パン㈱
碧南市　成田山索の会
〃　碧南支部
鈴鹿市　中日新聞若松専売所
〃　㈲中川新聞店
羽島市　中川喜智
犬山市　坂孝
高山市　森新一
丹羽郡　倉坪土建㈲
静岡県　㈱尾北弾征センター
〃　川口久喜
長野県　富士宮心清講
東京都　須坂新町成田不動講
〃　ムラカワ㈱
〃　㈱ケイワイズ
千葉県　㈱エヌ・シー・エル
〃　米屋㈱
神奈川県　諸岡謙一
〃　㈱秀光
〃　長谷川美智子
〃　長谷川得一郎

銅版協賛者芳名

（順不同敬称略）

四月

一宮市　長谷川雅高
〃　長谷川成子
〃　西司
〃　西由美
春日井市　林喜佐雄
〃　林眞義
〃　小川有二
小牧市　㈱エム・エフ・エス
安八郡　三英電子㈱
美濃加茂市　林昇
津島市　森野正広
羽島市　坂孝
岩倉市　㈱ソノケミカル
神奈川県　山本真由美
〃　山本夏菜
〃　山本茉希帆
東京都　五味みどり
千葉県　増田秋江

五月の登山講社

名古屋市　みなと成田講
〃　名古屋成田講
〃　成田山港名古屋講
〃　成田山金山橋講
〃　港トラック成田講
小牧市　小牧成田講
山県市　成田山岐北月参講
可児市　伏見口成田講
長野県　須坂新町成田不動講
静岡県　富士宮心清講

成田山索の会

港トラック支部
みなと成田講支部
港名古屋講支部
岐北月参講支部
金山橋講支部
名古屋成田講支部
伏見口支部
犬山一心支部
碧南支部

紙上書道展

三ツ渕小六　伊藤夕華
【評】お手本をよくみて美しくかけました。

三ツ渕小五　杉山さゆみ
【評】美しい線で、しっかりと書けています。

三ツ渕小四　田中聖莉奈
【評】しっかりとした線で練習したあとが伺えます。

おくやみ

椙山高氏

索の会名古屋成田講支部支部員、椙山高氏は去る五月七日逝去されました。

告別式は、五月九日稲沢市の稲沢セルカホールにて行われました。

喪主は椙山伸広氏。

編集室より

先月開催された「第五十二回学童写生大会」表彰式が今月三日に行われ、たくさんのお子様が受賞されました。

暑さにめげず一生懸命に創作活動に打ち込むお子様、その横で見守るお父さんお母さん、御協賛下さった関係各位の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。改めて御礼申し上げます。

色鮮やかに元気よく描かれた作品を見ると、鑑賞する側も元気をもらいすごく幸せになれます。

来年はどんな絵に出会えるんだろうと、今からワクワクする毎日です。　樗谷記

平成19年6月25日発行　名古屋 成田山　第3種郵便物認可（8）

お位牌ご奉安のお勧め

宗祖弘法大師をお祀りしている弘法堂地階「霊雲閣」では、ご信徒各家のお位牌をご奉祀し、毎日回向いたしております。

永年に亘り、不動明王尊を深く信仰されましたご信徒が物故され、その後もお不動さまのお膝元で永代供養されますことは、故人にとりまして冥福この上なく、遺されたご家族にとりましても報恩謝徳の誠となります。

また、霊雲閣の回廊には四国霊場八十八ヶ所お砂踏み行場を設け、巡拝の功徳を戴けるようになっております。宗祖弘法大師の御徳を偲び、霊場功徳を積まれますようお勧めいたします。

永代奉祀料　一金　三十五万円以上

三方金五重座御位牌（家紋入）

高さ一尺二寸（約三十六㎝）

※分納の方法もございます。詳しくは弘法堂始め各受付にてお尋ね下さい。

諸堂伽藍案内

本堂外壁 不動尊 霊験記彫刻

貞照寺本堂外壁に見られるこれらの彫刻は、川上貞奴女史が生涯を通じて成田山不動尊から授かった数々の霊験を主題とし、自伝風に表現したもので、八枚の絵図からなります。

登録有形文化財
諸芸上達・芸能の寺

成田山貞照寺

各務原市鵜沼宝積寺町5－189
電話（058）384－0202
http://www.inuyama-naritasan.or.jp/

昭和七年に制作された彫刻は東向きの本堂南壁に二枚、西壁に四枚、北壁に二枚が配置されており、常時拝観することができます。本堂は総檜造りですが、彫刻が施された羽目板は良質な欅材で、すべての作品を一枚板から削り出しています。

原画は、岡田如竹絵師によるもので、八枚の原画のうち、二枚は縁起館において展示公開をしております。

一方、彫工は、東京住の金子光清の手によるものです。金子は大正から昭和初期に掛けて活躍し、当時の関東では十指に入る有名な彫工でした。主な代表作として柴又帝釈天帝釈堂（東京都葛飾区）の内殿胴羽目に見られる塔供養図彫刻、宗吾霊堂本堂（千葉県成田市）の向拝龍などが代表作です。

※各務原市歴史民俗資料館「資料館だより」より抜粋

志納者芳名

ご信徒皆様より幟を始め、志納を賜りましたので芳名を掲載し、厚く御礼申し上げます。

（順不同敬称略）

名古屋市　四方忠雄
春日井市　野呂昭之
各務原市　横山恵美子
可児市　岩田宏子
静岡県　國持道生
〃　國持渥子

名古屋成田山紙賛助購読のお願い

当山では大護摩供、ご修行や玉垣ご志納等によりご縁を結ばれたご信徒と、団体参拝された皆様に本紙をお送りさせて頂いております。

ご信徒皆さまには、引き続きご愛読頂きますようお願い申し上げます。

尚、購読料は一年間送料込みで一千円です。

ご奉安のお勧め

水子地蔵尊　一体
一金　三万八千円以上

奉納のぼり　一本
一金　二千円以上

写経会

七月二十二日
（第四日曜日）